

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

寒い日でしたが (悦)

昨日までは暖かったのに、この日は寒い日、あいにくの曇り空。こんな天気だと、蝶は飛ばないと思っていましたが、午後少し暖かくなり、2,3の蝶が飛びました。

今回は15人で、密を避けるため、月例観察会の上級生は、極力別行動として「群れない」よう、注意しての実施でした。



このドロドロは？  
発酵しているようです。  
②36参照

楽しかったです(^o^)(園)

ズミの木が風に揺れてキレイでした。スマシも、似ていてもいろんな種類があるのだなあ と感心しました。その他、興味ある物をたくさん見れました。



今回は桜吹雪の中 (昭)

足元の可憐で小さな花 キランソウ、フデリンドウ、ツボスミレやカントウタンポポの発見に感動し、嬉しい時を有難う御座いました。



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館  
茅野市北山 カフェ 午後の森

《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

春はスマシ (悦)  
タチツボスミレ



①77  
ツボスミレ  
花は横長



サクラスマシ  
花が一番大きい



新しい切り口から森の世界へ (NAO)

初参加したら、森と人生のベテランさんたちがずらり！森に入ると、皆さん少年少女のように賑わい飛び回る。道なきところもひよいひよい登り、生き生きした姿がなんとも頼もしく嬉しくなった。木、花、野草、蔓、虫、アブラムシ、蝶、などなど、それぞれに得意分野があるらしい。

今回一番嬉しかったのは、ヤマナラシの木肌に出会ったこと。ダイヤモンド柄のおしゃれさんは、秋になると葉っぱで音を鳴らす音楽家になるとのこと♪木の葉柄が平たいため、風を受けて揺れるから、カサカサカサと音がるそうで、今秋が楽しみ！

散策中、常に持ち歩くこの会のガイドブックには皆さんの森林ラブが溢れていた。草木花を一つずつ知ることと森林と自然と虫たちとの距離が近づいていく。新しい切り口から森の世界への扉が開き、なんだか宇宙にポーンと入り込んだような気持ち。

森の奥の茂みでゼンマイを見つけて、生まれて初めて収穫できたのも嬉しかった。帰宅後、薪の灰とともに湯で、数日干しながら、森林での豊かな出会いを思い返す。



ヤマナラシ



ゼンマイ

5月の昆虫 (悦)

蝶:②109～118

- コミスジ
- ルリタテハ



● ヒメウラナミジャノメ



- ヤマキマダラヒカゲ
  - ウスバアゲハ
- トンボ:②127～128
- シオヤトンボ♀



5月観察した花 (悦)

- ★ ミツバツチグリ①71
- ★ カントウタンポポ①69
- ★ ヘビイチゴ①72
- ★ クサノオウ①73
- ★ ヒトリシズカ①73
- ★ ニガイチゴ①72
- ★ モミジイシゴ①72
- ★ カスミザクラ①70
- ★ ウワミズザクラ①70
- ★ ズミ①71
- ★ オトコヨウゾメ①76
- ★ ヤマツツジ①79
- ★ クリソウ①79
- ★ ツノハシバミ①67
- ★ ヒナスミレ②70
- ★ カキドオシ②75
- ★ ムラサキサギゴケ①75
- ★ フデリンドウ①74
- ★ タチツボスミレ①77

### コムスジ (〇)

幼虫越冬のコムスジ、気温が上がった午後に見ることが出来ました。



幼虫は独特な中脈に葉片をつるす食痕を残すとの事です。

こんなイメージ→



### ウスタビガの卵 (桂)

ウスタビガの繭、よく見たら卵がついていました。調べてみると、晩秋に羽化したばかりのメスの所にオスがやって来て、そこで卵を産んだそうです。成虫は短命なようで、何とも効率のよいことに納得です。



一人の帰り道に遭遇  
ヤマキマダラヒカゲ



### マルバアオダモ実験 (SU)

市民の森の入り口で、マルバアオダモの花が満開。  
白い小さな花が集まって、フワフワした印象を与える花。  
マルバは葉が丸い訳ではなくて、ギザギザがないから、アオダモのアオは、枝を水に浸けると水が淡い青に染まるから…、この日の観察会はマルバアオダモ実験から始まりました。  
森の植物観察、奥が深いぞ！！



マルバアオダモ

### 春 (5月)

東コース 1.0Km  
池⇄横河口  
→20分 ←25分  
ほぼ平坦

せせらぎコース 1.2Km  
南コースとの分岐⇄横河口  
→35分 ←40分  
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km  
山頂広場⇄池  
→25分 ←35分  
(標高差100m)

1.3Km  
駐車場⇄山頂広場  
→60分 ←45分  
(標高差100m)

南コース 1.8Km  
駐車場⇄池  
→40分 ←50分  
ほぼ平坦



④ タニギキョウ



オトコヨウゾメ

### 山野草の世界 (衣)

☆愛あふれる冊子に、みなさまのワクワクに、感動しきりのいちにちでした。  
身近な野草たちが好きでよく観察しています。今回をきっかけに山野草の世界の入り口にも立てて嬉しいです。  
これから少しずつ山の植物と仲良くなりしたいと思います♪



コパンガマズミ



ムラサキケマン

### マムシグサ (直)

マムシグサの葉の展開が始まりました。  
一瞬ぎょっと目を見張る、へび模様の茎(?)がタケノコのように伸びて、その中に精密に包んでいた大きな葉を広げていく、そんな過程を観察することができました。  
折りたたみ傘のような見事なコンパクトさでまず茎を伸ばし、少しでも高い場所で葉を広げ多くの光を浴びるためのデザインでしょうか。  
なかなかまねできないスマートな仕組みに脱帽です。



### 市民の森の出会い5月 (矢)



5月の観察会は萌出る若葉につつまれ爽やかに…。そんなこと当たり前とっていたけれど、実はこの光景、凄く幸せなことなのだ改めて感じさせられたコロナ禍の今年。たとえマスク姿でも！



ぼつんと一人グリンソウ(九輪草)  
& 賑やか群衆ヒトリシズカ(一人静)